

令和8年度 安佐町小河内コミュニティ推進協議会 事業計画書

1 今年度の目標

・既存事業を継続的に実施することで、地域住民への認知度向上を図る。
・地域課題の中でも特に深刻な地域住民同士の交流不足の解決に向けて、新たに「どろ落とし祭り」事業を実施する。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	どろ落とし祭り	(8)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月7日 ～ 令和8年6月15日	
(2) 実施場所	旧小河内小学校グラウンド・体育館	
(3) 参加者数	200人	
(4) 主催団体	団体名 安佐町小河内コミュニティ推進協議会	
4 取組内容	小河内地区の伝統行事として、6月の「どろ落とし祭り」8月の「どんどん夏祭り」を隔年交代で開催しており、今年度は「どろ落とし祭り」を開催する事で小河内地区の地域課題を解決する為の事業の一環として、地域住民一体となって取り行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 農繁期の田植え作業がひと段落するこの時期、田植え作業の労い（どろを落とす）の意味を込めて神楽上演・地区民の芸能発表、露店出店などで、祭りを盛り上げ日々の疲れを癒し、交流の場の創出を目的とする。 また、祭りの事前準備を地区民一体で行う事により、地域連帯感を高める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 事業の実施にあたり旧小学校のグラウンド・体育館の施設を利用する中で、周辺の草刈・体育館内の清掃を行う事により、施設の維持管理につなげ、地域の生活環境整備に寄与する。 地区民が一丸となり、小河内の魅力発信をする事により地域活性化に結び付く。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	伝統文化の継承事業（炭焼き・とんど行事）	(8)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	青少年野外活動センター及び小河内地区山岳部・小河内地区内圃場	
(3) 参加者数	100人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 NPO 法人小河内0プロジェクト、 安佐町小河内コミュニティー推進協議会	
4 取組内容	主として間伐作業をする事で山肌を元気にする取組 炭焼きは小河内地区での古くからの生活手段の一つであり、現在では用途は限られているものの、伝統文化として継承されている。また、昨年・ふるさと納税返礼品として採用された事で、貴重な地域の特産品として価値が高まっているため、本事業の活性化（雇用の創出）を図るため、今年度、炭窯のリニューアル工事を実施する。 とんど行事に関して、小河内地区の年度行事としての取組を継続しており、山岳部の活性化に向け、多方面からの参加を呼びかけながら、地区住民同士の親睦を深める。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 木炭を生産する為には、山から木を切り出す必要があり、これは間伐の実施につながる。間伐により山肌に空気及び太陽光を入れる事で、森林の健全化を図る。また、近年、害獣等が居住区へ出没する事から、防災対策・害獣の住処（餌場）を確保する事で、居住区への出没を阻止する事を目的とする。 小河内の魅力を創出する為、竹林を整備し今後の小河内の特産品となるよう竹の有効活用も検討する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 炭焼き事業は、産業としての販路拡大に結び付く商品として、人材確保（雇用促進）及び地域全体の活力事業として期待できる。とんど事業に関しては、伝統行事の継承及び地域の交流の場となる事が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	伝統文化の継承事業（吹囃子行事）	(8)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>9</u> 月 <u>1</u> 日 ～ 令和 <u>8</u> 年 <u>11</u> 月 <u>30</u> 日	
(2) 実施場所	安佐小河内集会所～養山八幡宮	
(3) 参加者数	<u>100</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>安佐町小河内コミュニティー推進協議会</u>	
4 取組内容	吹囃子行事は平成9年に市指定重要無形文化財に指定され、1811年（文化8年）以来、毎年11月の第1日曜日に秋祭り（秋季大祭）として続けられている。 近年、少子高齢化に伴い、小河内地区内での出演者が減少していることから、広報（SNS）等にて幅広く地区外に対して、興味を持たれている方への参加を呼びかけ、練習から本番を通して達成感・伝統文化の継承を試みる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 市指定重要文化財に指定された「吹囃子」を小河内の伝統文化として継承する事に加えて、小河内が伝統文化を継承するための取組を推進していることをアピールする事により、来訪者を増やす。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 本事業の実施を通じて、小河内の伝統文化の継承と共に、小河内地区外からの参加者・集客による交流人口の増加により、地域活性化・賑わいと創出に寄与する事を期待する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	困り事支援事業（ドローンによる農薬散布・草刈）	(8)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	安佐町小河内地域全域	
(3) 参加者数	80人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 安佐町小河内コミュニティー推進協議会	
4 取組内容	事業に「ドローンによる農薬散布」「かるーぞ隊」の2本柱を設け、稲作の農薬散布に係る労力及び農地周辺と居住地周りの草刈の草刈の負担軽減を担う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・小河内地区の過疎化・高齢化に歯止めがかからず、所有者不在の耕作放棄地の増加や、夏の炎天下での高齢者による作業の難しさなどを踏まえ、次のことを目的として実施する。 ・農作物の生産にあたり、ドローンの活用により、農薬散布（病害・防虫）の作業に於ける体力的な負担を軽減する。 ・農業後継者の担い手不足及び休耕田や荒廃地の増加を未然に防ぐため、草刈り隊チームを派遣する体制を整える。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 小河内地区に於いて、農業のスマート化は将来的に地域貢献できる事と期待しており、現役世代の就農・移住によって地域の担い手の確保、地域住民の負担軽減につなげる事を期待する。 個人からの草刈依頼に応じて、地域の困りごとの解消につなげる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	小河内敬老会	(8)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>9</u> 月 <u>19</u> 日 ～ 令和 <u>8</u> 年 <u>9</u> 月 <u>20</u> 日	
(2) 実施場所	旧小河内小学校・体育館	
(3) 参加者数	<u>100</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>安佐町小河内コミュニティー推進協議会</u>	
4 取組内容	・小河内地区に於いて、敬老会は毎年敬老会の日に行っている恒例行事であり、今年も対象年齢に達せられた、招待者の方々に対して、日頃の感謝と長寿を祈念して執り行う。 ・当日参加者の皆さんに気持ちよく過ごして頂けるよう、暑さ対策を行う。また、足腰が悪く、会場まで自力で足を運ぶことが難しい方に対しては、送迎を実施し参加しやすい環境を整える。 ・防災に関する講演やこども神楽の鑑賞等を行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 健康上の問題等で屋外に出て会話・交流する機会が限られ、高齢者同士が集い交流する場が失われつつある。 おもてなしの気持ちで敬老会を実施し、有意義な時間を過ごして頂くこと、長寿を祝うとともに、防災に関する講演会を通して啓発活動を行い、その対策を自主的に行う意識の醸成を目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 前半に防災に関する講演を行い、昼食時には、こども神楽等の催し物を鑑賞しながら有意義な時間を過ごして頂く。これにより、高齢者が外出して高齢者同士や他の年齢層の住民と交流する機会を創出する。 防災に関する講演について、自動車の運転等の交通安全、災害時の避難対応等、遭遇する可能性がある様々なケースを想定する事により、孤立しがちな高齢者の防災に対する意識啓発を図る。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	広報（SNS）・地区内放送設備構築事業	(8)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	安佐小河内集会所	
(3) 参加者数	50人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 安佐町小河内コミュニティー推進協議会	
4 取組内容	小河内地区の魅力を、ホームページ・Instagram等を活用し、地区内外に効果的に発信し、地域行事の参加等に結び付ける。 小河内地区管内の情報伝達をデジタル化し、地区内に情報を共有する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域行事の参加者を増やし、地域活性化につなげる為、ホームページやInstagram等を活用し、小河内の魅力を発信する。また、情報源を共有する事で、防災に結び付ける。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 小河内ホームページやInstagramを刷新する事で、地区内外へ幅広く小河内の魅力を発信する事ができる基盤の構築に寄与すると共に、地区内放送設備の構築により地区民の防災意識の向上につなげる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域の生活環境の整備事業（空き家対策・美化に資する活動）	(8)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日 ～ 令和 <u>9</u> 年 <u>3</u> 月 <u>31</u> 日	
(2) 実施場所	小河内地区全域	
(3) 参加者数	<u>150</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>安佐町小河内コミュニティー推進協議会</u>	
4 取組内容	・小河内空き家対策 「空き家どうしよう！と思ったら」と題し、各戸に封書を配布する。活用物件の開拓と共に手入れ状況の把握を行い、HPに掲載したうえで、空き家相談会を実施する。 ・小河内美化に資する活動 各单位自治会に於ける荒廃した道筋を管理する事で、地域美化を維持する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 現在、小河内地区に於ける空き家が増加傾向にあり、放棄されがちな状況にあることから、空き家の活用を図る為、情報集約を行う。また荒廃した道路等により小河内の美観が悪化しているため、手入れ及び美化の助成を行う。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 空き家を活用し、周辺を手入れする事で、小河内地区の美観を保つ事に結び付き、魅力発信となる。案内時に於いても好印象となり、田舎暮らし体験にも結び付き人口の増加に寄与する事を期待する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域の防災又は減災に資する活動事業	(8)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	小河内地区全域	
(3) 参加者数	300人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 安佐町小河内コミュニティー推進協議会	
4 取組内容	小河内地区に於ける風水害・火災・地震・土砂等の災害発生時の為、講演会を通じて対応及び防災意識の普及を図る。 講演は令和8年12月に実施を予定している(年1回)	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地区住民の防災意識を向上させるため、指定緊急避難場所と指定避難所(生活避難場所)、近隣避難場所を明確にする。土砂災害や河川の氾濫等、小河内地区において起こりうる災害を対策する為、講演を通じてシミュレーションを行う。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 講演を通じて災害時に於ける行動や避難場所を周知し、いざという時に判断できるように、繰り返しシミュレーションする事で、地区住民の防災意識を高め、安心・安全で暮らしやすい地域にする。	

3 自主財源で実施する事業

特になし